

一般質問



若林ひろき 議員(公明)

待機児童対策について

①平成28年度に向けて、1千名以上の定員拡大を図るような大胆な方策が必要と思われるが所見を。②29年度以降も保育需要を見直し、区有財産の有効活用など総合的な対策を。③認可保育園等での3歳児の受け入れ対策について、28年度以降の取り組みは、子ども未来部長 ①28年度は受け入れ枠を620人拡大する予定だ。更に、認可保育園や小規模保育事業の開設を検討する。②人口推計や保育需要を踏まえ公有地等も総合的に考慮して検討し、子ども・子育て計画に反映する。③これまでは認可保育園の新規開設や私立幼稚園の預かり保育で対応してきたが、今後も全員の受け入れ先の確保に努める。

地域包括ケアシステムと地域福祉について

①地域包括ケアシステムについて②医療連携検討部会での成果等は。③医療、介護

区それぞれの立場で共有していることは。④課題は。⑤情報のあり方やシステム構築への取り組みは。⑥地域組織以外の新たなコミュニケーションへの考え方等について、所見を。⑦住民が自発的に取り組む集いの場についての考えは。

福祉部長 ①検討により、在宅療養を進めるためのシステムを医師会が構築することになった。②切れ目なく適切な医療や福祉を提供できる仕組みが必要との共通認識を持つている。③情報共有や連携の仕組みをつくることだ。④在宅介護支援システム構築の中で検討する。⑤地域の自主的な活動の中での支え合い等が望ましい姿と考える。⑥区民の主体的な活動を把握し、地域福祉の観点から支援していくことが重要と考える。

災害対策について

①都条例で耐震診断が義務づけられた、特定緊急輸送道路沿道建築物について②13件が未診断の理由は。③診断済173件のうち、要補強と診断された117件が未改修の理由は。④都と区の取り組みの成果は。⑤耐震基準マンシヨンについて⑥今後の耐震化の取り組みは。⑦適切な維持管理について⑧区の関与の考え方は。⑨土砂災害対策について、所有者等の費用負担軽減も含めた新たな支援策の検討を。⑩災害時の外国人旅行者に対する情報提供等の取り組みは。

都市環境部長

①資産価値の低下を心配し、診断を実施しないとの声も届いている。②改修費用が高額なため等と

聞いている。③区の助成制度等を周知し改修等につなげてきた。④マンシヨンの建替え等の円滑化法に基づく様々な制度等を活用していく。⑤管理組合の継続支援等に取り組んでいく。⑥効果的な支援のあり方を研究していく。⑦商店街や関係事業者における対応の準備等を支援していく。

公共交通について

①補助26号線完成に向け、路線バス網の拡充に対する区の考え方と、バス事業者との協議のあり方は。②路線バスの拡充でも利便性が図れない地域を補完する方策は。

都市環境部長

①補助26号線は区の東西を結ぶ主要な道路であるため、路線バス導入を前提に協議を行っている。②引き続き検討していく。

公共施設の有効活用について

①公共施設等総合管理計画について②スケジュールは。③計画作成の利点は。④民間施設の老朽化に対して区有財産を有効活用した例は。⑤社会福祉法人施設の老朽化も視野に入れた、区有財産マネジメントの考え方は。⑥社会福祉法人への支援のあり方は。

区長 ①28年度中の策定をめざす。②計画的な利活用や効率的な維持管理に資するものだ。③学校跡地を私立学校に期限付きで貸し付けている。④区有地の状況や地域との関係等も考慮し、総合的に判断する。⑤福祉向上の観点や法人の運営状況等を踏まえ、協議の上で支援している。

教育次長

③施設の老朽化に加え、ビジネス支援機能が品川産業支援交流施設へ移転したことに伴うもの。④移転を検討していた時期に、都より代替地の候補として打診を受けた。⑤大崎駅西口の施設等は図書の取り次ぎサー



安藤たい作 議員(共産)

地域壊しの補助29号線事業は廃止を 大崎図書館は現地で存続を

①補助28、29号線、放射2号線について②区内特定整備路線上にかかり、影響を受ける住宅棟数等は。③都に事業廃止の働きかけを。④事業廃止はどのような手続きになるのか。⑤区内に12本ある優先整備路線の検討対象となる道路は、いずれも今すぐ整備を進める要因がない。区から都へ優先整備路線として手を挙げないよう求めるが、見解を。⑥大崎図書館について⑦移転しなくてはならない理由は。⑧跡地を29号線の代替地にする方針は、誰がいつ考えたのか。⑨代替施設はどのような施設か。⑩現地で存続を。

都市環境部長

①補助28号線は80棟、補助29号線は大田区を含め67棟、放射2号線が200棟だ。②廃止を求める考えはない。③一般的に都市計画決定を取りやめることが必要となる。④優先整備路線の選定については、対象となる全ての路線に対し評価を行うもので、評価の対象から除く考えはない。

都市環境部長

①国や航空事業者が行うべきことであり、区として予測調査を行う考えはない。②事業者の責任で実施すべきものであり、区が行う考えはない。③国が国際化に伴う羽田空港の機能強化を図ることは意義のあることと考えている。区は地域の不安の声を国に届けていく。

都市環境部長

①国や航空事業者が行うべきことであり、区として予測調査を行う考えはない。②事業者の責任で実施すべきものであり、区が行う考えはない。③国が国際化に伴う羽田空港の機能強化を図ることは意義のあることと考えている。区は地域の不安の声を国に届けていく。

①5万㎡以上の活用可能な公有地や815億円の基金を活用し、認可保育園等を計画的に

増設すべきでは。②旧第一日野小跡地は、認可保育園等として活用を。③旧品川・大崎土木事務所は津波、高潮対策をした特養ホームとして活用を。④旧国家公務員宿舎上大崎寮は、地域の方も活用できる公園等として活用を。

区長 ①公共施設有効活用プランを基本に、コストなど多面的な検討を行い、総合的な判断のもと有効活用を図っていく。②区有地は、地域特性や施策の効果などを見きわめながら活用している。④上天崎寮跡の国有地は、行政需要やコストに加え、今後の人口動向等も考慮しながら活用の可能性を検討している。

濱野区長の歴史認識を問う 教科書採択について

①区は新飛行ルートの区内への影響や騒音等の調査を行い、速やかな公表を。②区民の意見を聞くため、区の主催で国交省も出席した公聴会を開くことを求めるが、所見を。③区民の命と暮らしを守るため、品川上空の新飛行ルートに反対を表明すべきでは。

都市環境部長

①国や航空事業者が行うべきことであり、区として予測調査を行う考えはない。②事業者の責任で実施すべきものであり、区が行う考えはない。③国が国際化に伴う羽田空港の機能強化を図ることは意義のあることと考えている。区は地域の不安の声を国に届けていく。

都市環境部長

①5万㎡以上の活用可能な公有地や815億円の基金を活用し、認可保育園等を計画的に

品川区議会の予定

会議名	日時		
本会議	9月17日(木)午後1時、9月18日(金)午前10時、10月23日(金)午後1時		
常任委員会	総務	8月24日(月)午後1時、9月24日(木)・25日(金)午前10時	
	民生		
	厚保健		
文			
議会運営委員会	8月27日(木)午後1時、9月16日(木)午前10時30分、10月22日(木)午前10時30分		
特別委員会	行財政改革	8月25日(火)午後1時、9月28日(月)午前10時	
	オリンピック・パラリンピック推進	8月26日(水)午後1時、9月29日(火)午前10時	
	決算	款別審査	10月2日(金)・5日(月)・6日(火)・7日(水)・13日(火)・14日(水) ※すべて午前10時から開催します。
		総括質疑	10月20日(火)午前10時

本会議は区議会ホームページでインターネット生中継します。また、本会議は会議終了後おおむね1週間、決算特別委員会の総括質疑は会議終了後おおむね2週間後に、インターネット録画中継でご覧いただけます。

①総合教育会議の場で②教育委員会委員長は、なぜ教科書採択についての意見を区長に聞いたのか。③区長は、なぜ教科書採択の基本方針について語ったのか。④基本方針を教育委員会と区長が協議したことは、教育への不当な政治介入では。⑤区長は日本が違った戦争と認めるのか。⑥総務部長 ①アイウ教育委員長は教科書採択の作業に入る前に考え方を聞いたものだ。区長はそれに答える形で、教科書採択は教育委員会の専権事項であり、日本の伝統や文化を学べる教科書を選んで欲しいと発言している。文部科学省のQ&A等にあるとおり、政治介入に当たらないと考えている。②区長として答える立場にないと考えている。